

富山市地域福祉計画に関するアンケート調査ご協力をお願い

関係団体の皆様は、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

このたび、本市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりに向け、「富山市地域福祉計画」を策定いたします。

本アンケートは、「地域福祉計画」策定にあたって関係団体の皆様の考え方や意見を寄せていただき、本市の地域福祉を推進するための貴重な資料とさせていただきます。

なお、今回の調査では、市内で活動をされている福祉関係団体、NPO法人及びボランティア団体から約 200 団体を対象に実施するものです。ご回答いただいた内容は、計画策定の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 9 月

富山市長 森 雅 志

記入上の留意点

◆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
平成 30 年 9 月 25 日（火） までにご投函ください。

◆アンケート調査に関するお問い合わせ先

富山市 福祉保健部 社会福祉課（電話：076-443-2164）

ここからアンケート調査の設問になります。設問の指示にしたがってお答えください。

問 1 貴団体の基本情報について下記の表にお書きください。

(ふりがな) 団体の名称			
(ふりがな) 代表者名		(ふりがな) 調査票記載者名	
構成人数	() 名		
活動年数	() 年		
主な活動拠点	(例) メンバーの自宅、公民館、役場など		

問2 貴団体が取り組んでおられる活動の分野について、該当する番号をすべて選んで○で囲んでください。

(1) 高齢者福祉	(2) 障害者(児)福祉	(3) 児童福祉
(4) 健康づくり	(5) 地域交流	(6) 子育て支援
(7) その他 ()

問3 貴団体の職務、主な活動内容について教えてください。

問4 貴団体の活動は、おおよそどれぐらいの頻度で行っていますか。該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。

(1) 週1～2回	(2) 週3～4回	(3) 週5～7回	(4) 月1～2回
(5) 年1～5回	(6) 年6～11回	(7) その他 ()

問5 貴団体の活動エリアはどこになりますか。該当する番号をすべて選んで○で囲んでください。

(1) 富山地域	(2) 大沢野地域	(3) 大山地域	(4) 八尾地域
(5) 婦中地域	(6) 山田地域	(7) 細入地域	(8) 富山市外

問6 活動を行ってよかったことは何ですか。該当する番号をすべて選んで○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) 地域に貢献できる | (2) 地域福祉について勉強になる |
| (3) 高齢者や障害を持つ人への理解が深まる | (4) 様々な人々と接することができる |
| (5) 仲間ができる | (6) 感謝される |
| (7) その他 () | |
| (8) 特にない | |

問7 現在、貴団体・組織の運営上で困っていることは何ですか。該当する番号を3つまで選んで○で囲んでください。(1つでもかまいません)

- | | |
|------------------------------------------|-------------------------|
| (1) 家族の理解がない | (2) 構成員が定着しない |
| (3) 構成員が高齢化してきている | (4) 構成員に世代・男女のかたよりのある |
| (5) リーダーが育たない | (6) 若い人が参加しやすい活動ができていない |
| (7) 活動資金が足りない | (8) 仕事等が忙しく、活動ができていない |
| (9) 活動がマンネリ化してきている | |
| (10) 外部からの問い合わせや相談をいつでも受ける体制（連絡先、専従者）がない | |
| (11) その他 () | |

問8 現在、活動をしている中で困っていることは何ですか。該当する番号を3つまで選んで○で囲んでください。(1つでもかまいません)

- | |
|-----------------------------------|
| (1) 地域の付き合いが薄くなっている |
| (2) 社会福祉協議会の理解や支援が足りない |
| (3) 行政の理解や支援が足りない |
| (4) 支援を必要とする人などの情報が得にくい |
| (5) 市民に情報提供する場や機会が少ない |
| (6) やらされ感が強く、自発的な活動につながっていない |
| (7) 他のグループや団体と交流する機会が少ない |
| (8) 支援を必要とする人などの要求、希望に応えられないことがある |
| (9) その他 () |

問9 活動にあたり連携が必要と思われる他の組織団体等を選んでください。該当する番号を3つまで選んで○で囲んでください。(1つでもかまいません)

(1) 町内会	(2) 民生委員・児童委員
(3) NPO法人・ボランティア団体 ()
(4) 老人クラブ	(5) 子ども会・児童クラブ
(6) 青年団	(7) 自主防災会
(8) 消防団	(9) 障害者団体
(10) 日赤奉仕団	(11) 学校
(12) P T A	(13) 医療機関
(14) 社会福祉施設	(15) 商店・事業者
(16) その他 ()

問10 地域にある様々な福祉活動に必要な情報を、どちらから得ていますか。該当する番号を3つまで選んで○で囲んでください。(1つでもかまいません)

(1) 活動する構成員から	(2) 関連団体間の交流会から
(3) 上位団体から	(4) 町内会などから
(5) 富山市から	(6) ボランティア・NPO団体から
(7) 社会福祉協議会から	(8) 講習会・学習会から
(9) インターネットから	
(10) その他 ()

問11 様々な地域福祉活動を行ううえで、地域住民の要望をどのように把握していますか。該当する番号をすべて選んで○で囲んでください。

(1) 地域住民から直接聞く	(2) 各種団体から直接聞く
(3) アンケート調査などから	(4) インターネットから
(5) 富山市から	(6) ボランティア・NPO団体から
(7) 社会福祉協議会から	
(8) その他 ()

問12 貴団体の活動のPRや構成員・ボランティアの募集などは、どのような方法で地域住民へ周知していますか。該当する番号をすべて選んで○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) チラシ・パンフレットの配布 | (2) 広報誌の配布 |
| (3) 地域情報誌 | (4) 新聞、テレビ、ラジオなど |
| (5) 地域の行事などでのPR活動 | (6) 公共施設の掲示板など |
| (7) インターネットのホームページやSNS | |
| (8) その他 (|) |

問13 誰もが安心して暮らしていくために、地域で重要なことは何だと思いますか。該当する番号を5つまで選んで○で囲んでください。(1つでもかまいません)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| (1) 見守りや安否確認 | (2) ボランティア・市民活動 |
| (3) 福祉教育 | (4) 福祉サービスの情報提供 |
| (5) 子育て支援 | (6) 高齢者支援 |
| (7) 障害を持つ人への支援 | (8) 医療体制 |
| (9) 健康づくりや介護予防 | (10) 生きがいづくり・社会参加の促進 |
| (11) 生涯学習や生涯スポーツ | (12) 防災・防犯体制 |
| (13) 道路や施設のバリアフリー化の推進 | (14) 相談体制 |
| (15) 災害時の避難誘導・助け合い | (16) 福祉施設の整備 |
| (17) 地域活動やボランティア活動に取り組む人材の育成 | |
| (18) 判断能力に支障がある人への日常生活支援 | |
| (19) その他 (|) |
| (20) わからない | |

問14 ダブルケア（子育てと親や親族の介護が同時進行する状態のこと）で困っている方の支援を行っていますか。該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。

- (1) 行っている (2) 行うことは可能だが依頼がない (3) 行う予定はない

問14-1 問14で「(1) 行っている」と答えた方にお聞きします。「ダブルケア」の負担を軽減するため、どのような支援が必要だと思いますか。該当する番号を3つまで選んで○で囲んでください。(1つでもかまいません)

- (1) 家族・親族等からの支援（人的・経済的）
(2) 地域やボランティアによる支援
(3) 子育てに関する情報提供の充実
(4) 子育てに関する経済的な支援
(5) 介護に関する情報提供の充実
(6) 介護に関する経済的な支援
(7) 子どもを受け入れてくれる施設（保育所など）の拡充
(8) 要介護者を受け入れてくれる施設（特別養護老人ホームなど）の拡充
(9) 就労に関する支援（介護・育児休暇等職場の環境の改善など）
(10) 育児と介護の両立のための総合的な専門的な相談窓口の拡充
(11) その他（)

問15 生活困窮者の支援を行っていますか。該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。

- (1) 行っている (2) 行うことは可能だが依頼がない (3) 行う予定はない

問15-1 問15で「(1) 行っている」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような支援を行っていますか。該当する番号を1つ選んで○で囲んでください。

- (1) 就労支援（求職活動、就労に必要な能力の形成への支援）
(2) 生活支援（生活再建のための貸し付けや、家計管理など生活力を高めるための支援）
(3) 学習支援（生活困窮家庭の子どもたちの学習支援や進学支援など）
(4) その他（)

問16 現在の活動以外に、新たな活動や活動の拡充など、何かお考えのことがありましたら記入してください。

問17 本市では「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を目指しておりますが、今後の地域福祉の推進について、貴団体のご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
平成30年9月25日（火）までにご投函ください。